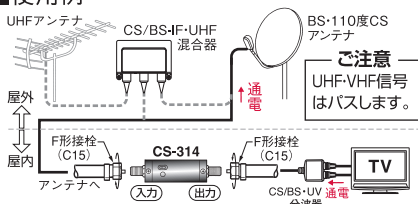


取扱い方法 CS-314-B2

使用帯域
CS-IF (CS放送) 増幅
BS-IF (BS放送) 増幅
UHF パス
VHF/FM パス

CS/BS-IFブースタ(屋内形)

■使用例



※この製品を使用してもデジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値が変わらない場合があります。(詳細は台紙の内側)

- この製品はテレビやデジタルレコーダなどからBS・110度CSアンテナ側に送られる電源(DC9.5~16.5V 35mA)で動作します。テレビやデジタルレコーダ側のBSアンテナ電源供給をONにしてください。

BS・110度CSアンテナに電源を送るとき左側



BS・110度CSアンテナに電源を送らないとき右側



※スイッチは軽くスライドさせてください。

■規格特性

使用帯域	CS/BS-IF	UHF・VHF・FM
使用周波数 (MHz)	950~2150	76~770
標準利得 (dB)	18~28	0~-3.5
定格出力 (dBμV)	98 (BS-IF8波) 90 (CS/BS-IF24波)	—
電源 (V/mA)	DC9.5~16.5/35 (同軸重畳式)	
入出力間通過電流 (V/mA)	最大DC16.5/500	

■付属品 固定バンド…1個 木ネジ…1本

※取扱方法は台紙の内側にも印刷していますのでご覧ください。



土壌汚染・大気汚染など環境に影響を与える物質や人体に悪影響を及ぼす物質を使用しない事、消費電力を削減する事など厳しい自社基準をクリアした製品にECOマークを表示しています。

(注)この製品を車内等高温になる場所に長時間放置しないでください。



T 4975584200732



PET
ケース



台紙

カスタマーセンター ☎ 0120-941-542

〔受付時間 9:30~17:00 夏季・年末年始休暇は除く〕
携帯電話・PHS一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合 ☎ 03-4530-8079

ホームページアドレス
<http://www.dxantenna.co.jp/>

DXアンテナ株式会社 本社/〒652-0807 神戸市兵庫区湊崎通2番15号

④

DXアンテナ

CS-314-B2

屋内用

ノイズ
ブロック構造で
クリアな画像

未来へ、環境負荷ゼロへ



【使用できる放送】

CS

BS

BS-110度CSアンテナ



通電
TV
CS/BSデジタルチューナ内蔵テレビ

DIGITAL

UHF・VHF帯/パス回路付 (75Ω)

CS/BS-IFブースタ

BS・110度CS放送の電波を増幅します。

取扱い方法 CS-314-B2

※“CS-314-B2”の末尾“B2”は包装形態を示しています。製品本体の表示は“CS-314”です。

安全上のご注意



警告

- 屋内専用。屋外や高温になる場所を避けること。水などで濡らさないこと。火災・感電や破損の原因となります。
- 途中には通電形機器以外を挿入しないこと。また、同軸ケーブルの接続などで心線と編組線が接触したり、ケーブルを傷つけないこと。火災・感電の原因となります。
- 異常が生じたら、接続している製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、手を触れないこと。感電の原因となります。



禁止



禁止



プラグを抜く

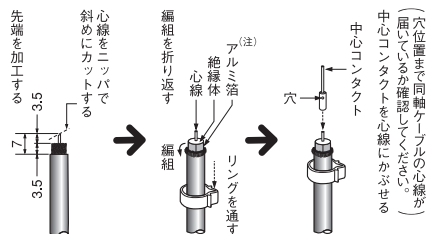


接触禁止

使用上のご注意

屋外で使用しないでください。この製品の使用温度範囲は(−10℃～＋40℃)です。電源の供給は、すべての同軸ケーブルが完全に接続されていることを確認した後に行い、指定された電源電圧以外では使用しないでください。

C15形F形接栓への同軸ケーブルの接続



(単位mm) (注)アルミ箔は折り返さないでください。

同軸ケーブルの先端加工をする場合、心線、編組線に傷をつけますと断線の原因になりますからご注意ください。接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。

取付方法

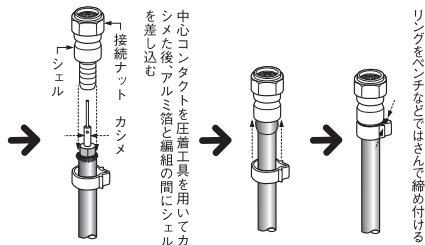
図のように付属の固定バンドと木ネジで壁面などに取り付けてください。



映像が正常に映らないとき

一般的にブースタを使用することでレベルは改善されますが、信号品質 (C/N) は改善されません。CS/BSデジタル放送受信機器に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値は信号品質を示していますので、この製品を使用しても通常、数値は上がりません。映像が正常に映らない場合はアンテナの向きを衛星の方向に正しく調整して信号品質を確保してください。また、このブースタで増幅した信号が受信機器に対して過入力になっている場合はアッテネータなどで調整する必要があります。(詳しくは弊社カスタマーセンターへご相談ください)

<F5SP1接栓(別売)への同軸ケーブルの接続方法>



CS/BS-IF帯の電波を効率よく伝送するため、同軸ケーブルはS-5C-FBなどの低損失ケーブルをおすすめします。また、BS-CDXなど、他のサイズの同軸ケーブルをご使用の場合、それぞれの同軸ケーブルに適した接栓(別売)をご使用ください。